

## 第4学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月13日(木) 5校時  
児童 男9名 女7名 計16名  
授業者 鈴木 秋子

1, 主題名 社会のためになることを(4-(2) 勤労・社会への奉仕)

2, 資料名 できることから(出典「道徳」4年 東京書籍)

3, 主題設定の理由

(1) 価値について

本單元における内容項目4-(2)は、「働くことの大切さを知り、進んで働く」と示されている。これは、仕事に対して誇りや喜びを持ち、働くことの意義を自覚し進んで社会の役に立とうとする心を持った児童を育てる内容項目である。人間として生きていくためには、仕事に誇りと喜びを見だし、生きがいを持って取り組むことが大切である。働くことは、単に自分が生活していくためだけではなく、自分に課された社会的責任を果たすという意味においても重要であると考えられる。

この時期の児童は、生活技能の向上に伴い、働く機会や場が増えてくる。しかし、社会の変化に伴い、児童が勤労や社会への奉仕の実体験をする場が家庭も含め不足傾向にあり、その機会をうまく生かせない状況にある。そのため児童に勤労や社会への奉仕の意義を理解させることは容易ではなくなっている。このような時期に、働くことの喜びを知り、みんなのためになることをしようとする態度を育てることは意義あることと考える。

そこで本時は、総合単元の「ふかめる」段階2回目の道徳の時間として「であう」段階の「進んで働こう」という心情を土台に総合単元で組んだ活動を関連させながら、働くことや社会に奉仕することの喜びを感得させ、勤労・社会への奉仕への実践的な態度を培っていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

児童の日常生活の様子を見るとひとなつこく、すなおでやさしいきもちの児童が多い。勤労・社会への奉仕の観点から見ると、気が利いて自分から進んで係や委員会の仕事をする児童も数名見られる。

ボランティア活動については、テレビや新聞での報道や必修クラブの設立等により、働くということについて興味・関心を持つ児童もでてきたし、家事分担を当然のこととして行い、家庭で働くことのできる児童も少数ではあるがみられる。しかし、その他の児童は、自分の当番でないときに学級の仕事を頼むと快くひきうけず、見返りを要求したりする等、他人のためにはなかなか行動を起こそうとしない側面がある。また、児童は、地区子ども会活動で町内清掃や廃品回収等の取り組みに参加してきているが、それは「決められているから」「毎年やっているから」という他律的な側面があり、自分から進んで人のために働くという気持ちが動いての活動であることは少ない。

そこで、2学期は「みんなのためにできること」を総合単元的な道徳学習とし、働くということが、自分の生活を高めるだけでなく、人の役に立つことであることを理解させるため、日常的な活動も関連させ身の回りの人のために働いていこうとする態度を育てたい。その中で、自分の働くべき仕事は責任を持って行えるようになってほしい。

(3) 資料について

本資料は、仲よし4人組が多摩川に現れたアザラシをきっかけに、なにか自分たちにでき

ることがあるのではないかと考える内容である。

昔、自分たちの町の海にも海がめが産卵しに来ていたことから、砂浜の掃除をすることにした。実際にやってみると、あまりのごみの多さにあきらめそうになるが、4人は続ける。そして、励まし合って砂浜掃除を続けて3ヶ月経過した頃、ほかの4年生もごみ拾いを始め、4人は砂浜の掃除を誇りに思ったという内容である。このことから、働くことの楽しさや喜び、力を合わせて仕事をする事の大切さを理解し、進んで働こうとする意欲を高めるのに適した資料である。

#### (4) 指導にあたって

##### ① 単元について

本単元の「である」段階では、2学期も元気で意欲的に活動していこうと学活では、係活動について心のノートを活用しながら話し合う。

また、国語の学習『「伝え合う」ということ』では、障害のある人たちの伝え合いの方法を知り、もの見方考え方を広げ、道徳「点字メニューにちょうせん」では、自分が働くことで、困っている人の役に立つことができることに気付かせ、進んで働こうとする気持ちを持たせたい。

「ふかめる」段階では、道徳の学習「やさしいなみだ」で、相手のことを考えて行動することのよさをわかり、総合的な学習・町内清掃で、身の回りの人のためにできることをしていこうという実践への意欲を持たせる指導をしていく。

「ひろげる」段階では、行事や総合的な学習の中で、相手のことを考えて、自分たちにできる活動を考え、力を合わせての取り組みを実行させていきたい。そして、みんなのために働く喜びを体感させる次の活動への意欲付けとしていきたい。

##### ② 本時について

「つかむ」段階では、家事手伝いについてペープサートにより2通りの働き方を見せてその行動の違いを認識させ、価値への方向づけを行いたい。

「とらえる」段階では、場面の状況を捉えさせるために、挿絵の拡大図や紙板書などを活用し、視覚に訴えることで理解を促したい。

「ふかめる」段階では、自分たちが町内清掃や早朝作業をして大変だったときの事を想起させながら、4人があきらめないで掃除を続けた気持ちに共感させたい。そして、砂浜の清掃活動が4人の仕事となり、働くこと、つまり、生きる喜びへとつながってきたことに気付かせたい。

「まとめる」段階では、3ヶ月も活動してきた4人の登場人物に手紙を書くことで、自己の活動についても振り返らせ、自己肯定感を持たせ、今後の活動への意欲を持たせたい。これまでの奉仕、係活動時における自己の考えや行動を振り返らせ、自己肯定感を持たせ、今後の活動への意欲を持たせたい。

「あたためる」段階では、児童が家庭で進んで手伝ったり働いたりしてくれてうれしかったときのことを父母に手紙に書いてもらっておき、渡して読ませ、働くことの誇りと喜びを感じとらせ、実践への強い意欲付けを図りたい。

4, 総合単元的な道徳学習の構想

単元名 みんなのためにできること

ねらい 身の回りの人のために働いていこうとする態度を育てる

段階	時期	意識の流れ	学級活動・体験的活動	各教科	日常指導・その他
であう	8月 4週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学期も元気で活動しよう。</li> <li>・自分が働くことがみんなのためになっているんだな。</li> <li>・身の回りにはいろいろな人がいるんだな。</li> <li>・障害のある人たちの伝え合いの方法には、いろいろなことがあるんだな。</li> <li>・自分が働くことで、役に立つことってあるんだな。</li> </ul>	<b>学級活動(オリエンテーション)</b> 「学級の組織を見直そう」 1学期の反省から2学期の係活動について話し合う。	<b>国語</b> 「伝え合う」ということ 点字などの伝え合いの方法に興味を持ち調べて発表し合い、ものの見方、考え方を広げる。	<b>当番活動</b> (日直・清掃・給食) 当番の仕事を忘れずに責任を持って働く。
	9月 1週		<b>心のノート P.70~72</b> 「みんなのために役に立つ喜び」 働くことは自分のためであり、人の役に立つことでもあると感じ取る。		
ふかめる	9月 3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからは、みんなのためになれるよういろいろな仕事をしよう。</li> <li>・みんなのために働く気持ちいいな。</li> <li>・決められた仕事だけでなく、人のために自分でできることを見つけよう。</li> <li>・力を合わせてみんなのために働こう。</li> </ul>	<b>道徳の時間</b> 主題名 進んで活動する 4-(2) 勤労・社会への奉仕 資料名 「点字メニューにちょうせん」(出典 東京書籍) ねらい 働くことの大切さを知り、積極的に働こうとする心情を養う。	<b>総合的な学習の時間</b> 「できることからはじめよう」 ・高齢者や身体に障害のある人達のことについて考える ・身体に障害のある人たちへの配慮や工夫に気づき、自分たちにできることは何か考える。	
	10月 2週		<b>町内清掃</b> 子ども会で地区の清掃・ごみ拾い等、自分たちにできる清掃活動をする。		
ひろげる	10月 3週	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとみんなのためになるように活動内容を工夫していこう。</li> <li>・相手のことを考えて、自分たちにできることをもっと見つけていこう。</li> <li>・いろいろな場面でできることを見つけてやってみよう。</li> </ul>	<b>学級活動</b> 「自分の仕事を見直そう」 係活動や委員会活動などについて話し合い活動内容を見直す。	・自分たちにできる活動を考え実行する。	
	11月 1週		<b>親子早朝環境整備作業</b> 自分たちの学校を気持ちよく使えるように清掃活動をする。		
	11月 2週		<b>秋の花植え</b> 交流学級との協力活動や環境整備活動を通し、働く楽しさを体感する。		
			<b>学校行事</b> 「気仙小フェスティバル」 進んで自分の役割を果たし力をあわせて取り組む。		

みんなのために働いていこうとする子ども



<p>まとめ 10分</p>	<p>4, 自分の生活を振り返り、総合単元カードに記入する。 ○3ヶ月もゴミ拾い活動をしている4人に手紙を書いてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月もやり通してすごいね。</li> <li>・これからもがんばってね。</li> <li>・自分にはできないかもしれないな。</li> <li>・みんなのために働くことはいいことだね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物に手紙を書く中で、今までの自分の考えや行動を振り返らせ、今後の実践へと結び付けたい。</li> <li>・ワークシートに書かせる。</li> </ul>
<p>あたためる 5分</p>	<p>5, 家の人からの手紙を読む。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が家庭で進んで手伝ったり、働いたりしてくれてうれしかったことを父母に手紙に書いてもらっておき、わたして読ませ、実践への意欲づけを図る。</li> </ul>

6, 板書計画

<p>三ヶ月後</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちになんてできるんだ。</li> <li>・きれいなすなはまをとりもどそう。</li> </ul>	<p>さし絵②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくたちがやめたら、きたないまま。</li> <li>・ごみぶくろ八つ分は、きれいになった。</li> <li>・やっぱりきれいなすなはまにしたい。</li> </ul>	<p>さし絵①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいなすなはまにしたい。</li> <li>・すなはまそうじならできそう。</li> </ul>	<p>できることから</p>
--	---	---	----------------

7 資料分析

